

## 回生放電ユニット取扱説明書

このたびは、当社製品“回生放電ユニット”をお買い上げくださいます、誠にありがとうございました。

この取扱説明書を熟読ご理解頂き、取り扱いに十分注意しながら適切にご使用ください。

この取扱説明書は、後々まで保存をお願いします。

### 1. 用途

軸本体のモータが減速時に発生する発電エネルギーを回生放電ユニット内の回路で吸収させるものです。負荷イナーシャが許容値を越える場合や発電量が多くなる場合に使用し、コントローラでの過電圧発生を防止します。

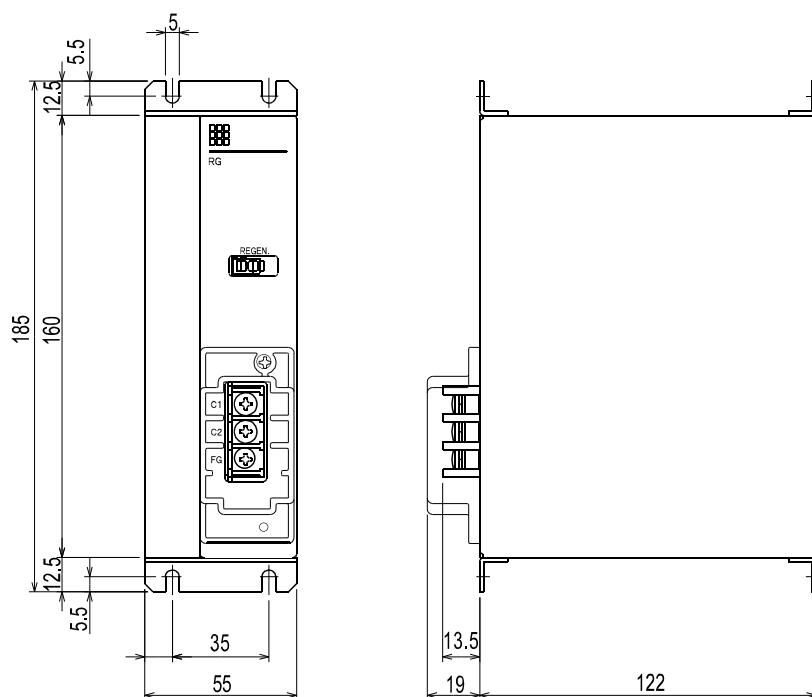
### 2. 仕様

|          |         |                                                    |                                |
|----------|---------|----------------------------------------------------|--------------------------------|
| 形式       |         | KCA-ABSU-2000                                      | 備考                             |
| 回生動作電圧   |         | DC 420V                                            |                                |
| 保護機能     |         | 放電抵抗温度 150℃で温度リレー動作。<br>出力接点：1b                    | 接点容量<br>AC125V/4A<br>AC250V/4A |
| 適用コントローラ |         | KCA-25-M10/S10<br>KCA-20-M10/S10<br>KCA-10-M10/S10 |                                |
| 周囲条件     | 設置場所    | 室内                                                 |                                |
|          | 使用周囲温度  | 0～40℃                                              |                                |
|          | 使用周囲湿度  | 30%～90%RH 結露なきこと                                   |                                |
|          | 使用周囲雰囲気 | 腐食性ガスのないこと                                         |                                |
|          | 保存周囲温度  | －20～70℃                                            |                                |
|          | 保存周囲湿度  | 30%～90%RH 結露なきこと                                   |                                |
|          | 保存周囲雰囲気 | 腐食性ガスのないこと                                         |                                |
|          | 振動      | 9.8m/s <sup>2</sup> 以下                             |                                |
| 外形寸法     |         | 55(W)×160(H)×122(D)                                | 取付金具含まず                        |
| 質量       |         | 0.78kg                                             |                                |

#### 注意

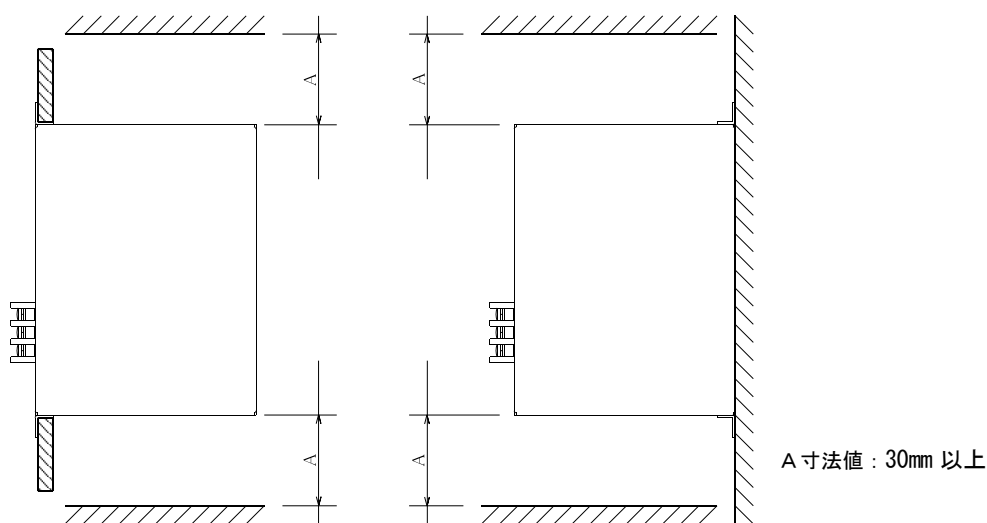
適用コントローラ以外のコントローラを組み合わせ使用した場合、回生放電ユニットは故障したり、動作しない場合があります。

### 3. 外形寸法



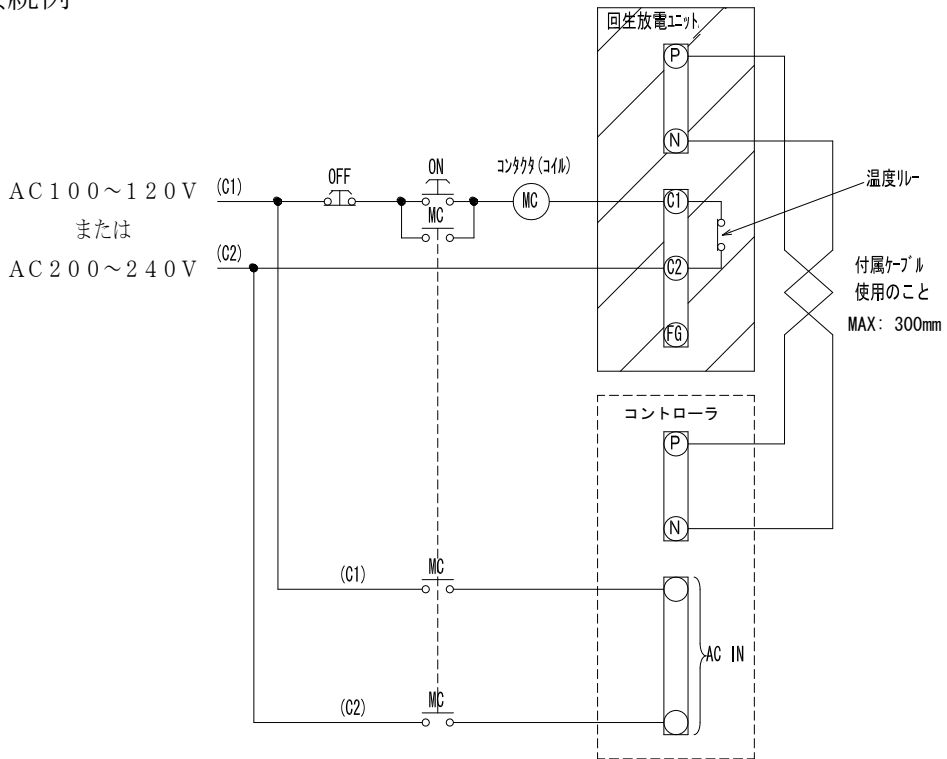
### 4. 設置

本機は対流による自然冷却方式を採用しています。設置の際は下図のように縦置きとし、上下の通気孔をふさがないように下表のスペースをとってください。外形寸法通気が不完全ですと十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因にもなります。



通気孔から回生放電ユニット内部に、液体、ゴミ等の異物が入らないようにしてください。尚、本機は防塵構造になっておりません。塵埃の多い場所での使用は避けください。

## 5. 接続例



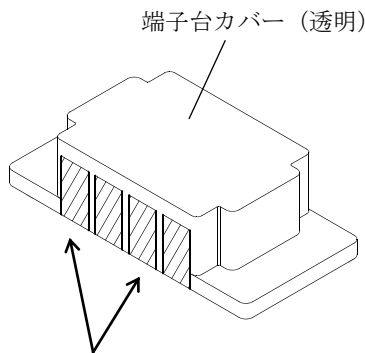
## 6. 使用上の注意

- ・回生放電ユニット放電抵抗には、150℃になると動作する温度リレーが内臓されています。
- ・このリレーが動作すると、回生放電ユニット出力端子C1-C2間がオープンになります。
- ・温度リレー動作時、必ずコントローラが停止するようにシーケンスを組んでください。
- ・温度リレーは一旦動作すると、リセット（正常状態に復帰）するまでに、3分程度必要です。

## 7. 付属端子台カバーの使い方

端子台への配線後、感電防止の為、付属の端子台カバーを必ず取付けてください。

端子台カバーは、配線取り出し方向を確認の上、加工してお使いください。



リード線取り出し口を設ける為、必要に応じてニッパー（又はカッター）等で左図のごとく斜線部を取り除いてください。反対面側からの取り出しも可能です。

太線部に切り込みを入れ、根元（斜線部）を折り曲げてください。